

JIS

ろう付継手の引張及びせん断試験方法

JIS Z 3192 : 1999

(2004 確認)

(2008 確認)

平成11年3月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS Z 3192 : 1988は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、国際規格との整合を図るために、ISO 5187, Welding and allied processes — Assemblies made with soft solders and brazing filler metals — Mechanical test methodsを基礎として用いた。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 40. 2. 1 改正：平成 11. 3. 20

官 報 公 示：平成 11. 3. 23

原案作成協力者：社団法人 日本溶接協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 溶接部会（部会長 藤田 譲）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ろう付継手の引張 及びせん断試験方法

Z 3192 : 1999

Methods of tensile and shear tests for brazed joint

序文 この規格は、1985年に第1版として発行されたISO 5187, Welding and allied processes—Assemblies made with soft solders and brazing filler metals—Mechanical test methodsを基に作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規格されていない規格内容(試験片の種類)及び規定項目(試験結果の記録)を追加している。

なお、点線の下線又は側線を施してある箇所は、対応国際規格にない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、ろう付継手の引張及びせん断試験方法について規定する。

備考 この規格の対応規格を、次に示す。

ISO 5187 : 1985 Welding and allied processes—Assemblies made with soft solders and brazing filler metals—
Mechanical test methods

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS B 0031 製図一面の肌の図示方法

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

3. 試験の種類 試験の種類は、引張試験及びせん断試験の2種類とする。

4. 試験片

4.1 試験片の種類 試験片の種類は、試験の種類及び試験片の形状によって区分し、表1のとおりとする。

表1 試験片の種類

種類			備考
引張試験片	1号	A	板材及び形材の突合せろう付継手
		B	
	2号	A	棒状の突合せろう付継手
		B	
せん断試験片	3号	A	板材及び形材の重ねろう付継手
		B	
		C	
		D	
引張せん断試験片	4号		板材及び形材のスクーフろう付継手